

和泉市市民活動推進支援事業支援対象団体エントリーシート

2021年11月17日

和泉市長 あて

団体名 いずみしっぽクラブ

代表者名 桜井 好美

所在地

電話番号

和泉市市民活動推進支援金の交付を受けたいので、和泉市市民活動推進支援金交付要綱第7条の規定により、関係書類を添えて、支援対象団体の募集にエントリーします。

事業名	犬の保護・里親とのマッチング活動 動物愛護啓発活動
申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> ステップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
事業費総額	¥400,000 円 (うち、対象経費 400,000 円)
支援金 交付申請額	¥200,000 円

1. 支援対象団体と決定した場合、和泉市の後援名義を使用しますか。

(はい ・ いいえ)

2. 添付資料

- (1) 団体概要調書（様式第2号）
- (2) 規約、会則又は定款及び役員名簿の写し
- (3) 事業計画書（様式第3号）
- (4) 収支予算書（様式第4号）
- (5) その他市長が必要と認める書類

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

団体概要調書

フリガナ	イズミシッポクラブ		
団体名	いずみしっぽクラブ		
団体の目的	「動物の殺処分ゼロ」を目標とした啓発活動及び動物（犬）の保護・里親とのマッチングを行い、人と動物が幸せに共生できる社会を目指します。		
市内事務所の所在地			
	電 話		F A X
フリガナ	サクライ ヨシミ		
代表者氏名	桜井 好美		
連絡先 ※この申請について 問い合わせをしたと きに対応できる方	(連絡責任者氏名)※		電 話
	フリガナ サクライ ヨシミ		
	桜井 好美		F A X
(住所) 上記事務所以外に資料送付を希望する場合はご記入ください。			
設 立 年 月	2012年9月	主な活動地域	和泉市
会報等の発行	<input checked="" type="checkbox"/> (随時発行) ・ 無	会員数	9人
メールアドレス			
ホームページ	http://		
主な事業内容	社会全体で、虐待や多頭飼育崩壊などで苦しむ動物（犬）のレスキューを行うとともに、里親譲渡活動を行います。 レスキューした犬に関しては、必要な手術・検査等を行います。 終生飼っていただく里親とのマッチングは慎重に行います。		
主な活動の実績	繁殖犬・多頭飼育崩壊・飼い主の死去・入院・施設入所による引き取り等犬のレスキューを行い、病院で治療を行う。 トライアル正式譲渡までの活動。啓発活動として厳しい環境に置かれている犬や猫の現状を知っていただく活動。新聞の発行。活動報告。		
国・府・市及び 各種団体等から の他の補助金及 び委託実績 (過去3年間の 実績を記載)		名称	金額(円)
	令和 2年	あなたが選ぶ 市民活動支援事業支援金	82,433円

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

事業計画書

1 事業名	犬の保護・里親とのマッチング活動 動物愛護啓発活動
2 申請コース	(1) 公益活動支援コース <input type="checkbox"/> チャレンジコース <input checked="" type="checkbox"/> テップアップコース (2) 地域活性化コース <input type="checkbox"/> 地域活性化コース
3 事業の必要性（※別紙添付可）	
① 事業を実施する前提となった問題点、課題、社会背景等 人間の身勝手な行動により、飼育放棄される犬が多くいます。また悪徳なブリーダーや業者がはびこり社会問題になっている現実があります。人気の犬種に関しては繁殖犬として劣悪な環境で子どもを産ませ続け、用をなさなくなったら捨てるという非道な実態があります。近年では、施設入所や入院など、飼い主の事情による引き取りも多く見受けられます。	
② 事業を実施することにより達成しようとする目標、期待される効果 団体・参加者・地域全体のメリット等、啓発活動を根気よく続けながら、この悪循環を断ち社会全体で動物との共生社会を目指し「殺処分ゼロ」の実現を目標といたします。	
4 事業内容（※別紙添付可）	
①問題点、課題を解決するためにどのような方法を用いてどのような事業を実施しますか。 啓発活動に努め、虐待や飼育放棄される犬を保護し、里親譲渡活動を行います。また、保護した犬について里親譲渡までに医療機関でのウイルス検査や、病気及びけがの治療を施します。譲渡後も定期的に里親さんとの連絡を取り、再び不幸なことがおこらないように見守ります。	
③ 実施期間（日時）	令和4年4月～令和5年3月
④ 実施場所	和泉市全域
⑤ 主な対象者	和泉市民
⑥ 参加予定者数	100名
⑦ 告知方法	SNS・ニュースレター・ちらし等
5 事業スケジュール	
次期（月）	内容 令和4年4月から令和5年3月 2か月に1回程度の定例会の開催。 保護が必要な動物のお世話や情報交換。 活動報告の作成。様々なイベントへの参加と共に活動報告を掲載するチラシを作成し各地域等に配布する。 必要に応じて、レスキュー依頼があればメンバーが保護に向かい、保護した動物の譲渡活動を適宜実施する。

6 審査項目からみた事業の自己PR ※要綱別表第2審査基準参照

(実施事業について、どういう点が優れているかなどを審査項目ごとに記入してください。)

① 公益性	人間の身勝手な行動により、飼育放棄されている犬が多くいる現状があります。本事業で啓発活動をしていくことで、保護犬への意識が高まり、また自分に出来ることを協力したいという市民ニーズが高まり、多くの人たちの共感を得られると考えています。
② 継続性	イベントへの参加により、募金活動を行っています。 (フリーマーケット等への参加) 保護犬のお世話などに参加するボランティアが増えており、本事業も少し貢献できているのではないかと考えています。
③ 実行性	活動を実施していく上で、市や他団体等とも連携がとれているため、保護する体制は整っております。また、譲渡会開催など里親譲渡活動、啓発活動にも力を入れ、動物との共生社会実現に向け邁進します。
④ 協働性	市を事務局とする「尾っぽの会」のメンバーとなり、和泉市内の犬・猫の保護活動をしている活動団体と情報共有を行い、連携しながら活動を行っています。 動物病院の先生方も「尾っぽの会」に参画されており、そういった方たちとも情報共有を行うため、より広域な活動を行えるようになりました。
⑤ 公開性	SNSやニュースレター、チラシ等を随時発行し、譲渡会などの情報をより多くの市民のみなさまへ周知する活動を行っています。
⑥ 発展性 (先駆性・ 展開性) (集客性)	2012年より活動を継続しており、市や市民ボランティア、等の協力を得て、活動の幅が広がっています。 新たな取り組みとして、警察署と連携を取り、保護した犬の引き取りがない場合、連絡をいただきレスキューを行っています。 市からもレスキュー依頼があり、職員の方とともに保護活動を行っています。

この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。

様式第4号（第7条・第15条関係）

収支予算書

事業の名称： 犬の保護・里親とのマッチング活動 動物愛護啓発活動

1. 【収 入】

（単位：円）

項 目	金 額	積算根拠
支援金	200000	和泉市市民活動推進支援金
事業収入	150000	寄付金など
自主財源	50000	会費・フリーマーケット等
合 計	400000	

2. 【支 出】

（単位：円）

費 目	金 額	積算根拠（数量、単価等）
旅費・交通費	10000	交通費・燃料費・高速代金
消耗品	100000	餌・ペットシート・衣服・文具・インク 清掃道具など一式
委託料	250000	病院代（検査、治療、不妊去勢手術等）
使用料及び賃借料	40000	譲渡会会場使用料
備品費(対象経費)	0	
備品費(対象外経費)	0	
合 計	400000	
対象経費	400000	

※費目は、別表第3（第10条関係）に記載されているとおりに記載してください。

※備品費（対象経費）には備品以外の対象経費の合計を3で除した額もしくは1品あたり上限5万円で算定した備品費のいずれか低い額を記載してください。

備考 実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書等を添付する必要があります。

※この内容は、和泉市のホームページ等で公表します。